

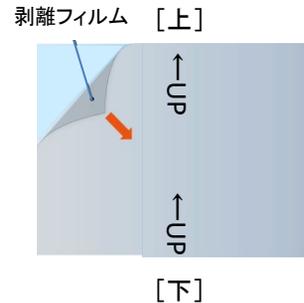
熱線再帰・遮熱・飛散防止フィルム 施工上のポイント

※必ずお読みください

熱線再帰・遮熱・飛散防止フィルムは、一般的な飛散防止フィルムに比べて特殊な機能層を有するフィルムです。本施工手順、ポイントをご理解いただいた上、作業を行ってください。

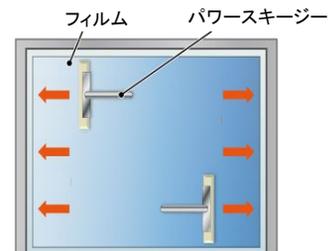
■施工時のフィルムの向き

- ・フィルムには、**上下方向**があります。
剥離フィルムに“←UP”の文字が印刷されており、**矢印の向きが施工時の天井側**にあたります。
フィルムの施工方向を間違えますと、
近赤外線の上方向反射機能が損なわれますのでご注意ください。



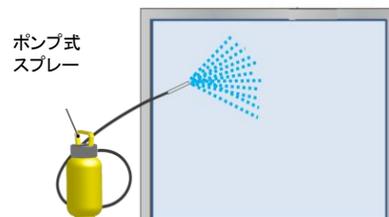
■フィルムの本圧着 ～スキージング方法～

- ・フィルムの貼り付けと一次圧着（仮抑え）後の、フィルムの本圧着の処理のため、
下記の**取手付き厚手フィルム用スキージー**などをご準備ください。
（取手ハンドルの無いタイプですと水残り懸念があります）
- ・スキージング後の水残りが確認される場合には、**スキージーパッドを巻き付けたスキージー**
によるスキージングの後処理を推奨いたします。



■施工後の仕上がりのために

- ・施工前のガラス表面、窓枠の清掃は仕上がりに影響を与えます。
粘着材や固形物などには、十分ご注意の上清掃してください。
- ・施工時にガラス表面へ施工液を噴霧される際には、
隙間無くたっぷりと噴霧してください。
不足するとガラス表面にフィルム粘着剤が貼り付き、
フィルムの位置決め調整が難しくなったり、
糊ズレ（糊の変形）を誘発したりします。



- ※ 本製品を施工後に、施工液の影響により白濁して見えることがございます。水分の蒸発と共に徐々に透明になりますが、
施工箇所の環境（季節、温度など）条件により、ある程度日数を要することがございます。
- ※ 本圧着後に貼りかえる場合には、新しいフィルムをご使用ください。